練馬区立田柄中学校　学校だより

令和６年　特別号

練馬区立田柄中学校

校長　小室　賢一

令和６年３月１日（金）

田柄だより

教育スローガン　：　明るく元気で楽しい学校

令和６年度に向けて

１年間の学校教育を振り返り、次年度の教育課程を編成するための学校評価アンケートにご協力をいただき誠にありがとうございました。アンケート質問の回答には「そう思う」「ややそう思う」「あまり思わない」「そう思わない」の４段階でお答えいただきました。その中で**「そう思う」「ややそう思う」を肯定的な回答として割合（%）に表し、生徒・保護者・教員と比較**して示しました。そして、肯定的な回答割合の８０%以上をとても高い。７０%以上を高い。５０～７０%を普通程度。５０%以下を低いと分析して評価しました。この学校評価アンケート結果を学校経営に生かしてよりいっそう「生徒が健やかに成長できる田柄中学校」を作ってまいります。

１　アンケート結果

【令和５年１１月実施】

質問	生　徒	保護者	教職員
回答率	85%	63%	96%
１　生徒は、明るく元気に楽しく登校することができている。	92%	88%	95%
２　生徒は、自ら考え行動することができている。	86%	84%	81%
３　生徒は、自校に誇りをもち行動している。	72%	68%	80%
４　授業は１時間の「めあて」が明確になっている。	70%	69%	94%
５　一人一人の生徒を大切にした、個に応じた学習指導がされている。	74%	50%	88%
６　話し合い活動・発表活動など言語活動を重視した授業が進められている。	87%	78%	78%
７　生徒用タブレットなどＩＣＴ機器を活用した授業が進められている。	82%	71%	67%
８　少人数習熟度別学習（数学）により、意欲や学力を高める取組が進められている。	78%	71%	94%
９　保健体育科授業を中心に、十分な運動量を確保する取組が進められている。	96%	85%	100%
１０　生徒の学力、能力、努力を適切に評価している。	79%	64%	100%
１１　生徒一人一人が大切にされ、生徒の気持ちが考慮された生徒対応が行われている。	81%	62%	95%
１２　道徳授業での主体的・対話的な学びを通して、生徒の豊かな心を育んでいる。	89%	76%	90%
１３　学校生活のきまりを守れるよう、基本的生活習慣（あいさつ、時間を守る、身だしなみ、言葉遣い、姿勢）が向上するよう適切に指導している。	92%	84%	100%
１４　命の大切さを学ぶ教育の充実、いじめ未然防止のための指導・教育相談・環境整備に努めている。	89%	79%	100%
１５　特別支援教育に力を入れ、合理的配慮に基づく指導や関係機関との連携を進めている。	88%	63%	95%
１６　生徒に将来の生き方を考えさせたり、体験させたりする進路学習が行われている。	88%	68%	100%
１７　進路希望調査・三者面談・キャリアパスポートなどを通じて、家庭と連携し、適切な進路指導が行われている。	91%	74%	95%
１８　運動会や合唱コンクールなどの学校行事が充実しており、生徒が中心となって活動している。	93%	92%	95%
１９　生徒会・委員会活動などを通して、生徒の主体的活動を促す教育が行われている。	93%	84%	90%
２０　部活動の指導が充実しており、適切に運営がなされている。	82%	68%	86%
２１　授業体験や行事を通して、田柄小・田柄第二小と連携し、小中のスムーズな接続を推進している。	81%	85%	91%
２２　セーフティ教室、避難訓練、不審者対策などの安全指導の充実に取り組んでいる。	96%	91%	100%
２３　掃除が行き届き、施設・設備を含めてよりよい環境の整備に取り組んでいる。	87%	91%	95%
２４　給食の献立は工夫され、栄養のバランスが良く、安全である。	97%	89%	100%
２５　感染症対策・熱中症対策など健康に配慮した教育活動が実施されている。	87%	84%	95%
２６　教職員の健康に配慮し、行事の効率化・ICT 機器の活用等、働き方改革を進めている。	88%	81%	81%

２７　授業の「ねらい」が明確になり、学習への意欲が高まった。	64%		
２８　言語活動を重視した授業により、考える力や表現する力が高まった。	79%		
２９　ＩＣＴ機器を活用した授業を通じて、自己学習能力が向上した。	61%		
３０　少人数習熟度別の取り組みにより、学習への理解が深まった。	73%		
２７　学校行事や授業公開は、保護者・地域が参加しやすいものとなっている。		88%	100%
２８　電話や学校を訪問した際の対応は、親切で好感がもてる。		90%	100%
２９　保護者・地域に対して教育活動を学校だよりやホームページ等で積極的に発信している。		84%	95%
３０　保護者・地域の意見を聞き、連携しながら学校を運営しようとしている。		80%	95%

２　結果分析と次年度に向けて

（１）**生徒の皆さん**は、本校の**教育活動について概ね肯定的な回答**をしています。アンケートでは、ほとんどの項目で肯定的な回答が高い割合を占めています。特に「１　明るく元気に楽しく登校することができている」の９２％の肯定的回答は非常に嬉しく感じています。多くの生徒が充実感を感じながら生活していると考えられるからです。**本校は、生徒の生活態度、学習態度は、たいへん落ち着いており、この生活・学習の状態を継続していくことが、すべての教育活動の基盤につながっていくと考えます。**コロナ禍で合唱をする機会がなかったことや、あいさつをする機会が減ってしまったことで、田柄中の良き伝統である「元気さ」の復活という面では、もう少し時間がかかるかもしれません。その中で、学習面の「２７　授業のねらいが明確になり、学習への意欲が高まった」や「２９　ＩＣＴ機器を活用した授業を通じて、自己学習能力が高まった」では６０％台にとどまっており、今年度、田柄中で教職員が取り組んだ研修の成果が表れていません。ＩＣＴ機器活用研修で得た知識や技能を発揮し、家庭学習で有効に活用できるタブレットの使い方について生徒の皆さんにお知らせします。また、ＩＣＴ機器については、活用することを目的にするのではなく、効果的な活用を目指します。そして、授業の「ねらい」を明示し、１時間の授業で何を身に付ければいいのかというゴールを示して、皆さんにとって目標が明確になる授業づくりをしていきます。

（２）**保護者の皆様**には、本校の教育活動について、**概ね肯定的に評価されたものと考えられます**が、学校として改善すべき点もありました。特に、**「４　学習のめあての明確化」「５　個に応じた学習」「１０　評価」という学習面の質問に対する肯定的な回答の割合が低かった**です。（１）で触れたように「めあて」を明確にした授業づくりを行っていくように努めます。また、タブレット端末にある学習ソフトが家庭学習に有効なことが分かっているので、生徒に周知し活用の機会を増やすとともに、授業の中でも個別指導について工夫をしていくようにします。**「評価」について**は、保護者会で説明するとともに、授業の中で生徒の皆さんが理解できるように説明する機会を設けることとします。**「特別支援教育の充実」について**は、定期的に会議を実施し、専門家による助言の機会を設け、ＰＤＣＡサイクルで合理的配慮の充実に努めてまいります。**「進路学習」について**も小学校から引き継ぐキャリアパスポートを生かし、３年間の見通しをもって取り組んでまいります。最後に**「３　自校への誇り」「１１　生徒の気持ちが考慮された対応」**ですが、教職員については、今後も人権感覚を磨き、生徒に寄り添いつつ、目指す生徒像を示し、必要な指導・助言を自信をもって行っていきます。また、生徒が田柄中を我が母校として誇りがもてるよう、生徒とともに学校づくりを進めてまいります。そして、これらの取組が保護者の皆様や地域の皆様に伝わるよう、学校ホームページや各種おたよりによる情報発信を積極的に行ってまいります。

（３）**教員**は、「明るく元気で楽しい学校」をスローガンに進めている教育活動について**概ね高い割合で肯定的にとらえています**。学習指導や生活指導について、教員の意識と保護者の意識の差が大きい項目については、真摯に反省をしながら検証を重ねて改善していきます。ＩＣＴ機器活用面については、得手不得手がありますので、今年度からＩＣＴ活用研修を取り入れてスキルアップに努めています。**今後も、生徒・保護者の期待に応えられるよう努力します。**

３　保護者自由意見より（質問内容は要旨です。また、個人に係る事項は掲載していません。）

（１）感謝の言葉

①生徒たちのための様々な取り組みについて。
②教員の接遇面や対応が良さについて。
③先生は、日々やる事が多く、大変な中生徒の様子をよく見ていることについて。
④子供が毎日楽しく学校に通っていることについて。
⑤教員が色々と工夫して教育を行っていることについて。
⑥教科の学習内容についいて素晴らしい。勉強量、質の高いカリキュラムについて。
⑦田柄中学校のいじめ対策について。
⑧学校掲示板が更新されていたり地域の方でも子供達の活躍がわかるようになったことについて。
⑨ホームページに学校生活の様子を載せていることについて。

心温まるたくさんのご意見をいただき感謝申し上げます。教育内容等について、評価していただいた点は継続して努力いたします。

（２）学校の教育活動全般について

①教員の言動について残念な場面があったことについて。
②一人一人を大切にした教育を進めてほしいことについて。（三者面談の際の教員の対応等含む。）

学校評価アンケートの自由意見欄については、全教職員で共有しました。厳しいご指摘も真摯に受け止め、改善に努めます。ご理解いただきたいことや学校としての教育方針や育成ビジョンについては、ご家庭とのコミュニケーションを大切にしてお伝えしていきます。

③保護者に対して、何かとコメント記入を求めることが多いことについて。

「学校行事等学校公開」の際に意見や感想を、また、年に一度「学校評価アンケート」を実施しています。本校の教育活動を振り返り、次年度の学校経営計画に生かすために実施しています。地域や保護者の皆様の率直なご意見を伺うため、今後も継続します。内容等についてご意見がございましたらお知らせください。

④マスクがとれない子ども達について。

マスクについては、状況に応じて外すこと奨励したり、感染症の拡大がある際には着用を推奨したりしています。任意のため外すことを強制しておりませんが、外している生徒は増えています。

⑤学級閉鎖の期間について。

学級閉鎖期間については、練馬区教育委員会や学校医と相談して決めています。今後も感染症拡大防止を念頭に考えていきます。学校に登校している際には、給食の提供をした後の下校という判断になることが多いです。

⑥登校時や体育の授業で帽子着用について。

登下校時や屋外の活動において、帽子を着用することについては、生徒の意見も聞きながら、前向きに検討します。暑くなる季節の前には結論を出します。

⑦空調設備について。（体育館含む）

今年度、空調設備の故障があり、一定期間ご迷惑をおかけしました。設備的な修繕は適宜行っていきます。体育館の空調設備設置は練馬区教育委員会より、学校改築工事に合わせて、令和７年の夏季休業中に実施すると回答を得ています。

⑧通学の際の荷物について。

荷物が重いことは理解しています。そのため、本校では、タブレット端末以外、学用品の持ち帰りは行わなくてよいとしています。個人のロッカーに教科書等を置いていくことは可能です。ただし、ロッカーの大きさには限界があるので個人で調整する必要があります。

⑨給食の栄養面について。

給食については、栄養士が配置されており適切に管理しています。給食だよりをご覧ください。

⑩定期考査中の給食提供について

年間の給食回数について、練馬区教育委員会の推奨する回数を上回っていますが、定期考査最終日は

部活動も再開することから給食の提供を検討します。

（３）学習面について

①受験を意識した学習や評価ではない指導をしてほしい。

今年度、本校では「めあての提示・対話的な学習・ＩＣＴ機器の活用・振り返り」を授業の中に取り入れるという目標を立てて授業を行ってきました。時期によっては演習が多く、受験勉強に特化した学習に感じられることがあるかもしれませんが、今後も新しい学習指導要領の内容を踏まえた授業デザインを行っていきます。

②教員が作成するプリントを分かりやすくしてほしい。よりわかりやすい教え方をしてほしい。

学習プリントの作成は、教科部会で作成する場合と個人で作成する場合があります。教科部会等を活用して、今後も複数の目で確認するなどしていきます。配布したプリントに疑問点やご意見などございましたら、お手数ですが学校までお知らせください。

③英語を習熟度別での授業や通信教育などを利用した英会話練習を導入してほしい。

ペアワークやグループという対話的な学習が多い英語科では、習熟度別にクラスを分けて授業を行うことによる学習活動の停滞というデメリットがあるため、実施を見合わせています。また、英語科では話すことも重要視されているため、授業での取組や外国人教師との会話の機会やスピーキングテストなどで技能の向上を目指します。

（４）評価・評定について

①生徒の評価については、明確でオープンにしてほしい。

②評価方法に分かりにくい。実技教科の評価方法が分かりにくい。

保護者会、進路説明会、三者面談などを通して、学習計画や評価・評定について情報を発信しています。しかし、分かりにくいというご意見があるので、今後は、内容も含めて検討・改善します。特に、生徒に行う評価の説明について、丁寧に行って理解を促していきます。

（５）定期考査について

①定期テストについては、授業内で扱ったもののみで作成してほしい。

授業中や問題集などで取り扱っていない内容について出題することはありません。質問教室なども実施しているので、そういった機会を積極的に利用するようにしていただくとよいと思います。

②定期テストで写真や絵を使う際に不明瞭にならないようにしてほしい。

作成した問題用紙や解答用紙は教科部会を活用して確認していますが、さらに丁寧にチェックを行います。また、定期考査中に生徒から質問を受ける機会があるので、それも活用していきます。

③部活動の大会日程と試験日が重なることについて。（実施時期に工夫がほしい）

年間計画の作成は、各行事の日程や定期考査の間隔、学期末の事務処理にかかる日数など、様々なことを考慮して決定しています。特に６月～７月には、長期に渡って部活動の大会が開催されていますので、どの日程でも大会と重なってしまう現状があります。

（６）生活指導について

①生徒に対する指導について言動等を振り返り改善してほしい。

人権尊重の理念は徹底するようにします。ご理解いただきたいことや学校としての教育方針や育成ビジョンについては、ご家庭とのコミュニケーションを大切にし、ご家庭と学校が一体となってお子様を育成できるようにします。万が一、学校が行う指導についてご不安や疑問等があるようでしたら、学校までご連絡ください。

（７）部活動について

①顧問の部活動に対する姿勢や態度について

忍耐力を培い、達成感や感動を味わえる部活動の教育的な価値や効果は大きいです。学校としてもその意義は十分に理解しています。今回、その思いが生徒・保護者に伝わらず、すれ違う場面があった

ようです。今後は、部活動説明会で田柄中学校としての部活動方針を丁寧に説明するとともに、顧問との対話の機会を通して、ご家庭と学校が協力体制を築けるように努めます。

②外部指導員の配置について

現在、練馬区教育委員会では「部活動指導員」と「部活動外部指導員」を配置できるようにしています。「部活動指導員」は「顧問」として練習を一人で指導することや大会の引率ができます。次に「部活動外部指導員」ですが、「コーチ」として「技術指導」のみを行うことができます。本校では、教職員の異動によって専門的な指導ができる教職員は減少しており、上記の指導員の配置を希望しています。「部活動指導員」は区教委が面接・採用をして、希望する学校に配置しており、各校１名程度です。「部活動外部指導員」の採用は学校が行います。制度は整ってきているのですが、どちらも人材不足で配置ができません。本校の「部活動外部指導員」は地域支援コーディネーターやTERRO、教職員の紹介や卒業生にお願いしておりますが、すべての部活動に指導員が配置できていない状況です。

③部活動を行う際の再登校について（学校の図書館等の開放を希望）

本校に限らず、練馬区内の中学校では教職員の研修会や会議の際には、お子様に再登校をさせています。管理者不在の中、災害や事故、トラブルなどがあった場合の生徒の安全面を考慮しての対応になります。ご理解いただければ幸いです。

【令和６年度の主な変更点】

ここまで、保護者の皆様や生徒に行った学校評価アンケートの結果や教職員で行った自己評価、学校評議員会からの助言、さらには、東京都・練馬区の方針から、次年度の学校教育について協議を進めてまいりました。令和６年度の主な変更点は下記のとおりとなります。

１　時程の見直しを行い、放課後の時間を確保します。

出欠確認の時間を８時２５分にし、１時間目の開始を８時４０分～に変更します。
放課後の清掃活動を週２回（火・木）とし、清掃がない日の下校時間を１５：３５に変更します。
部活動開始時間を早め、最終下校時間は夏期１８時、冬期１７時３０分に変更します。

２　行事の精選を行い、教職員だけでなく生徒のゆとりを生み出します。

令和６年度より、２年校外学習、３年校外学習は行いません。理由としては、２年生は、オーケストラ鑑賞教室や職場体験学習、スキー移動教室と校外に出かける機会が多く、校外学習にかける事前事後の準備や振り返りができず、行事が重なり子どもたちのゆとりがないためです。３年校外学習は、卒業式直前の日程調整が難しいことと、学習として位置付けて事前・事後学習ができないためです。

３　開設部活動の見直しを行います。

令和６年度より水泳部の募集を行いません。本校では、大会参加の申し込みや大会引率を行っておりましたが、中体連の大会にもクラブチームより参加できるようになっています。そのため、教員の負担軽減や部活動の地域移行という流れを考慮して募集をしないことにいたしました。

４　暑さ対策として制服の選択肢を増やします。（ポロシャツの導入－白色・紺色）

暑さ対策として、ポロシャツを導入することといたしました。４月よりネリマサンドレスで販売していただくよう準備しています。詳細は販売準備ができましたらお知らせします。

これまで行ってきた教育活動には、すべてに意味があるため、なかなか改革が進んできませんでした。しかし、今回精選したことによるデメリットは少なく、他の教育活動によって学校目標を達成できるという判断にいたりました。子供たちと向き合う時間の確保と教職員の働き方改革としてご理解いただければ幸いです。